

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ピュアエナジー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

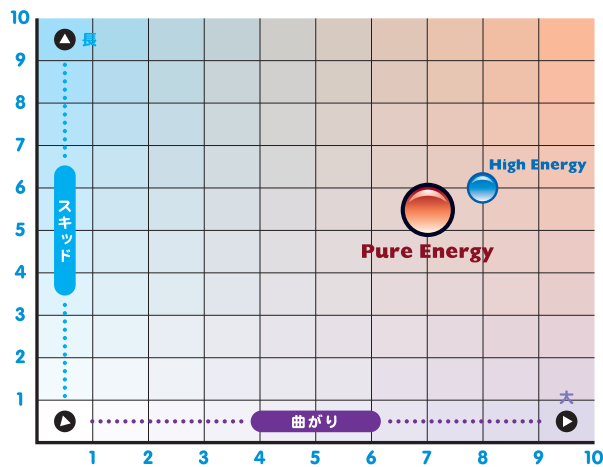
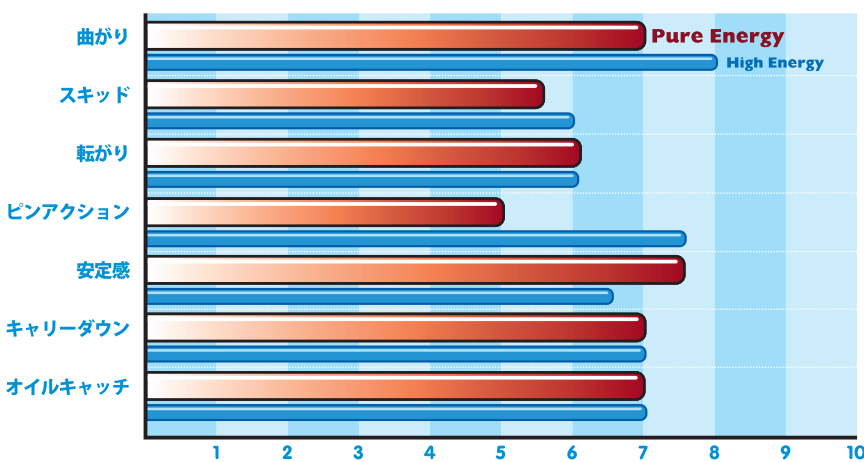
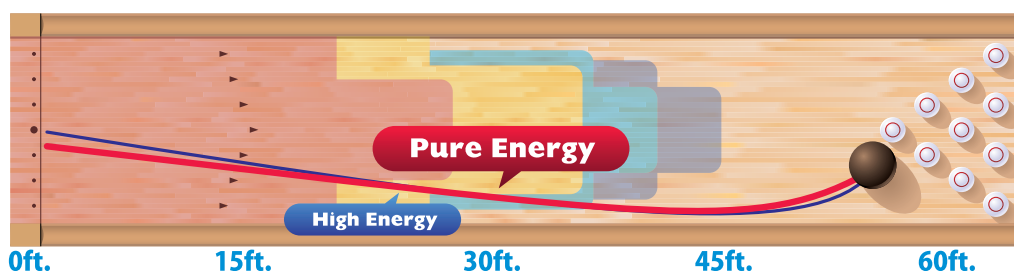
比較対象ボール：ハイエナジー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

ハイ・パフォーマンスを演出できる ENERGY・コアを心臓部に、定評のあった Soaker ATC カバーストックに Particle を混入搭載し、SMOOTH 仕上げの表面加工も手伝い、曲がりの際は緩やかな扱いやすいアーク上の曲がりを見せる。曲がり幅も小さいほうではなく、特にミディアムコンディションではしっかりとした曲がりが見られ、オイルが多いコンディションでも安定したトラクションを確保できるボールと言えるでしょう。PURE ENERGY というネーミングはまさに PURE と言われるが如く、純粋に幅広いコンディションでの扱いやすさを求め開発に至ったものであり、過激な反応を抑え常に安定したトラクションを発揮できる数少ないスペックと言えます。

この PURE ENERGY を投球していただければ解りますが、現在発売されているほとんどのボールは、オイルゾーンとドライゾーンの差がはっきりと出してしまうカバーストック特性が多く、その反応が過激なためにキャリアダウンやコンディションの変化に常に対応を強いられ、それがボウリングの醍醐味である一方、スコアメイクとの表裏一体の関係にあることでしょう。もし、ミディアムからミディアムヘビーのコンディションで、曲がり安定し、コンディションに左右されることが少なく、ポケットまでの孤を描けるとしたら…。

そんなコンディションの対応をリカバリーしてくれるのがこの PURE ENERGY であり、安定したスコアメイクを可能にしてくれる逸品となるでしょう。

特記事項

緩やかな孤を描き、さまざまなコンディションで安定したパフォーマンスを発揮できるボールです。コンディションに左右されにくいトルクのある曲がりを是非お試しください。